

20-1 文化財一覧

資料：市教育委員会文化課（令和7年4月1日現在）

国 宝

番号	種 別	名 称	指 定 年 月 日	所 在 地
1	建 造 物	青 井 阿 蘇 神 社	平20. 6. 9	上 青 井 町

国指定文化財

番号	種 別	名 称	指 定 年 月 日	所 在 地
1	重要文化財（建）	老 神 神 社	平 2. 9. 11	老 神 町
2	重要文化財（建）	岩 屋 熊 野 座 神 社	平14. 12. 26	東 間 上 町
3	重要文化財（彫）	木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	明39. 4. 14	願 成 寺 町
4	史 跡	大 村 横 穴 群	大10. 3. 3	城 本 町
5	史 跡	人 吉 城 跡	昭36. 9. 2	麓 町
6	重要無形民俗	球 磨 神 楽	平25. 3. 12	人吉市・球磨郡9町村

国選択無形民俗文化財

番号	種 別	名 称	指 定 年 月 日	所 在 地
1	無形民俗文化財	球 磨 神 楽	昭57. 12. 21	人吉市・球磨郡9町村
2	無形民俗文化財	九州地方のきじ馬・きじ車製作技術	令 7. 3. 28	九 州 地 方

国登録文化財

番号	種 別	名 称	指 定 年 月 日	所 在 地
1	有形（建）	旧国鉄矢岳駅駅長官舎主屋	平15. 7. 1	矢 岳 町
2	有形（建）	旧国鉄矢岳駅駅長官舎井戸	平15. 7. 1	矢 岳 町
3	有形（建）	人吉旅館玄関棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
4	有形（建）	人吉旅館東棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
5	有形（建）	人吉旅館中央棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
6	有形（建）	人吉旅館西棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
7	有形（建）	芳野旅館本館	平25. 3. 29	上 青 井 町
8	有形（建）	芳野旅館別広間棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
9	有形（建）	芳野旅館居間棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
10	有形（建）	芳野旅館従業員棟	平25. 3. 29	上 青 井 町
11	有形（建）	くま川鉄道御溝橋梁	平26. 12. 19	城 本 町
12	有形（建）	くま川鉄道大王川橋梁	平26. 12. 19	城 本 町
13	有形（建）	くま川鉄道岩清水ア一チ橋	平26. 12. 19	願 成 寺 町
14	有形（建）	旧青井家住宅主屋	平29. 10. 27	上 青 井 町
15	有形（建）	旧青井家住宅西蔵	平29. 10. 27	上 青 井 町
16	有形（建）	旧青井家住宅東蔵	平29. 10. 27	上 青 井 町
17	有形（建）	旧青井家住宅門	平29. 10. 27	上 青 井 町
18	有形（建）	青井阿蘇神社禊橋	平29. 10. 27	上 青 井 町
19	有形（建）	街蔵石倉（旧緑屋石倉）	令 5. 2. 27	紺 屋 町
20	有形（建）	街蔵麴室（旧緑屋麴室棟）	令 5. 2. 27	紺 屋 町
21	有形（建）	公衆温泉新温泉	令 5. 2. 27	紺 屋 町

20-1 文化財一覧(つづき)

資料：市教育委員会文化課

県指定文化財

番号	種別	名称	指定年月日	所在地
1	重要文化財(建)	井口八幡神社 神殿	昭37. 9.10	井ノ口町
2	重要文化財(建)	石造七重塔	昭37. 9.10	願成寺町
3	重要文化財(建)	大信寺 地蔵堂	平4. 8.12	南泉田町
4	重要文化財(建)	御館御門橋	平16.10.22	麓町
5	重要文化財(絵)	絹本着色両界曼荼羅	昭37. 9.10	願成寺町
6	重要文化財(彫)	木造薬師如来坐像	昭37. 9.10	井ノ口町
7	重要文化財(彫)	大信寺の地蔵菩薩立像	昭37. 9.10	南泉田町
8	重要文化財(彫)	願成寺の木造不動明王立像	昭37. 9.10	願成寺町
9	重要文化財(工)	千本槍	昭36. 2.15	人吉城歴史館
10	重要文化財(工)	刀上野介	昭36. 2.15	鹿児島県霧島市
11	重要文化財(工)	稲留家の馬具	昭37. 9.10	人吉城歴史館
12	重要文化財(工)	東林寺の舍利容器	平9. 7.16	浪床町
13	重要文化財(書)	人吉高等学校所蔵高橋文庫養安院本	昭59. 5.24	北泉田町
14	重要文化財(古)	願成寺文書	平7.10.11	人吉市文化財資料室
15	重要民俗文化財	真宗禁制の遺物一括	昭38. 1.22	下林町
16	重要民俗文化財	馬草野の庚申塔	平10. 1.28	上原田町馬草野
17	重要無形民俗文化財	球磨地方の臼太鼓踊り(鬼木)	昭36. 6.26	鬼木町
18	重要無形民俗文化財	球磨地方の臼太鼓踊り(七地)	昭36. 6.26	七地町
19	重要無形民俗文化財	人吉市の棒踊り(大塚)	昭36. 6.26	大塚町
20	重要無形民俗文化財	人吉市の棒踊り(田野)	昭36. 6.26	田野町
21	重要無形民俗文化財	人吉田野の俵踊り	昭36. 6.26	田野町
22	重要無形民俗文化財	人吉田野の錫杖踊り	昭36. 6.26	田野町
23	重要無形民俗文化財	ウンスンかるたの遊戯法	昭40. 2.25	人吉市
24	史跡	相良家墓地	昭37. 9.10	願成寺町
25	天然記念物	カマノクド	昭37. 9.10	赤池原町
26	名勝	鹿目の滝	令6. 3.22	鹿目町

市指定文化財

番号	種別	名称	指定年月日	所在地
1	有形文化財(建)	石造三重塔	昭35. 9.27	願成寺町
2	有形文化財(建)	石造五重塔	昭50. 9.15	土手町
3	有形文化財(建)	阿弥陀三尊石塔婆	昭50. 9.15	七地町
4	有形文化財(建)	眼鏡橋	昭50. 9.15	下原田町西門
5	有形文化財(建)	堀合門	昭54. 5.29	土手町
6	有形文化財(建)	方(角)柱塔婆	昭62. 3.31	七地町
7	有形文化財(建)	キリシタン灯籠	昭62. 3.31	人吉城歴史館
8	有形文化財(建)	長福寺阿弥陀堂	平6. 4.28	下原田町上野
9	有形文化財(建)	城本の笠塔婆	平19. 3.12	城本町
10	有形文化財(建)	青井大神宮内宮・外宮	平25. 5.28	上青井町
11	有形文化財(建)	矢黒神社本殿、覆屋及び拝殿・神供所	平25. 5.28	矢黒町
12	有形文化財(建)	遥拝阿蘇神社本殿、覆屋及び拝殿・神供所	平25. 5.28	上林町

20-1 文化財一覧(つづき)

資料：市教育委員会文化課

市指定文化財

番号	種 別	名 称	指 定 年 月 日	所 在 地	
13	有形文化財(建)	村 山 観 音 堂	平25. 5. 28	城 本 町	
14	有形文化財(絵)	紙 本 雪 中 山 水 の 図 細 井 平 洲 作	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	
15	有形文化財(絵)	絹 本 山 水 の 図 細 井 平 洲 作	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	
16	有形文化財(絵)	絹 本 青 緑 山 水 の 図 細 井 平 洲 作	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	
17	有形文化財(絵)	板 絵 御 正 体	昭62. 3. 31	上 青 井 町	
18	有形文化財(絵)	相 良 家 歴 代 当 主 肖 像 画	平 3. 12. 26	人吉市文化財資料室	
19	有形文化財(絵)	人 吉 城 油 絵	平 3. 12. 26	人吉市文化財資料室	
20	有形文化財(彫)	銅 造 千 手 観 音 立 像	昭62. 3. 31	城 本 町	
21	有形文化財(彫)	木 造 千 手 観 音 立 像	昭62. 3. 31	城 本 町	
22	有形文化財(彫)	木 造 阿 弥 陀 如 来 立 像	昭62. 3. 31	鬼 木 町	
23	有形文化財(彫)	木 造 阿 弥 陀 如 来 立 像	昭62. 3. 31	鶴 田 町	
24	有形文化財(彫)	木 造 聖 観 音 坐 像	昭62. 3. 31	赤 池 水 無 町	
25	有形文化財(彫)	木 造 神 像 二 体	昭62. 3. 31	中 神 町 大 柿	
26	有形文化財(彫)	木 造 伝 観 音 菩 薩 坐 像	平 3. 12. 26	古 仏 頂 町	
27	有形文化財(彫)	木 造 神 像 四 体	平 3. 12. 26	下 原 田 町 上 野	
28	有形文化財(彫)	木 造 随 身 倚 像 一 対	平 3. 12. 26	下 原 田 町 上 野	
29	有形文化財(彫)	木 造 伝 四 天 王 像	平25. 5. 28	城 本 町	
30	有形文化財(工)	扁 額	昭33. 3. 10	北 泉 田 町	
31	有形文化財(工)	檜	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
32	有形文化財(工)	檜	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
33	有形文化財(工)	檜	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
34	有形文化財(工)	刀	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
35	有形文化財(工)	刀	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
36	有形文化財(工)	兜	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
37	有形文化財(工)	兜	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館	
38	有形文化財(工)	太 刀	拵	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館
39	有形文化財(工)	脇 差	拵	昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館
40	有形文化財(工)	鐔		昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館
41	有形文化財(工)	鐔		昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館
42	有形文化財(工)	鐔		昭35. 10. 13	人 吉 城 歴 史 館
43	有形文化財(工)	短 刀		昭62. 3. 31	宮 崎 市
44	有形文化財(工)	懸 仏		昭62. 3. 31	上 青 井 町
45	有形文化財(工)	相 良 家 甲 冑 (櫃 共)	平 3. 12. 26	人 吉 城 歴 史 館	
46	有形文化財(工)	銅 製 懸 仏 (五 面)	平 3. 12. 26	下 原 田 町 上 野	
47	有形文化財(工)	牛 塚 毘 沙 門 堂 罽 口	平17. 3. 31	人 吉 城 歴 史 館	
48	有形文化財(工)	西 門 釈 迦 堂 罽 口	平17. 3. 31	人 吉 城 歴 史 館	
49	有形文化財(工)	観 音 寺 観 音 堂 罽 口	平17. 3. 31	願 成 寺 町	
50	有形文化財(書)	書 跡 (佐 藤 一 斎 作)	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	
51	有形文化財(書)	書 跡 (佐 藤 一 斎 作)	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	
52	有形文化財(書)	書 跡 (佐 藤 一 斎 作)	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	
53	有形文化財(書)	書 跡 (細 井 平 洲 作)	昭35. 10. 13	人吉市文化財資料室	

20-1 文化財一覧(つづき)

資料：市教育委員会文化課

市指定文化財

番号	種別	名称	指定年月日	所在地
54	有形文化財(古)	相良家文書(写)	昭62. 3. 31	人吉市文化財資料室
55	有形文化財(古)	探源記	昭62. 3. 31	人吉市図書館
56	有形文化財(古)	歴代私鑑	昭62. 3. 31	人吉市図書館
57	有形文化財(古)	南藤蔓綿録	昭62. 3. 31	人吉市図書館
58	有形文化財(古)	歴代嗣誠独集覧	昭62. 3. 31	人吉市図書館
59	有形文化財(古)	歴代参考下書	昭62. 3. 31	人吉市図書館
60	有形文化財(古)	佐無田家文書	平 6. 4. 28	七日町
61	有形文化財(古)	相良三十三観音御詠歌	平19. 3. 12	浪床町
62	有形文化財(歴)	織月石	平 3. 12. 26	人吉城歴史館
63	有形文化財(歴)	乗物(担棒共)	平 3. 12. 26	人吉城歴史館
64	有形文化財(歴)	時の太鼓(桴共)	平 3. 12. 26	人吉城歴史館
65	無形民俗文化財	井ノ口の虎踊り	昭62. 3. 31	井ノ口町
66	無形民俗文化財	三十三観音巡り	平11. 4. 27	市内各所
67	史跡	東林寺岩壁画	昭33. 3. 10	浪床町
68	史跡	御薬園及び下屋敷	昭33. 3. 10	七地町
69	史跡	矢瀬ヶ津留	昭33. 3. 10	東間上町
70	史跡	赤池城跡	昭33. 3. 10	赤池原町
71	史跡	相良家下屋敷	昭33. 3. 10	相良町
72	史跡	荒毛遺跡	平 6. 4. 28	下原田町荒毛
73	史跡	古仏頂観音堂境内地	平11. 4. 27	古仏頂町
74	史跡	笹原番所跡	平16. 11. 15	大畑麓町
75	史跡	了清院跡及び了清院墓地	平21. 3. 2	富ヶ尾町
76	名勝	稲荷山	昭33. 3. 10	西間下町
77	天然記念物	青井神社の楠	昭33. 3. 10	上青井町
78	天然記念物	人吉城跡のイチイガシ	昭33. 3. 10	麓町
79	天然記念物	石水寺の海棠	昭50. 9. 15	下原田町西門
80	天然記念物	人吉東小学校の大クス	平21. 3. 2	七日町

20-2 宗教法人数

資料：県私学振興課「熊本県宗教法人名簿」

(単位：法人)

計	神 道	仏 教	キ リ ス ト 教	諸 教	
48	16	27	4	1	
包 括 団 体 名 称	法 人 の 名 称	事 務 所 所 在 地	包 括 団 体 名 称	法 人 の 名 称	事 務 所 所 在 地
神 社 本 庁	相 良 神 社	麓町35-1	臨 濟 宗 妙 心 寺 派	聖 泉 院	瓦屋町2169
〃	老 神 神 社	老神町22	〃	天 真 寺	赤池原町1391
〃	若 宮 神 社	五日町76	〃	瑞 祥 寺	上原町17
〃	井 口 八 幡 宮	井ノ口町949	黄 檗 宗	東 林 寺	浪床町3008
〃	青 井 阿 蘇 神 社	上青井町118	日 蓮 宗	林 鹿 寺	麓町7-1
〃	岩屋熊野座神社	東間上町3799	日 蓮 正 宗	正 化 寺	相良町6-6
〃	赤池菅原神社	赤池水無町590	〃	正 宣 院	西間上町1006-2
〃	中島阿蘇神社	下田代町1335	本 門 佛 立 宗	立 薫 寺	宝来町13-10
〃	薩 摩 瀬 神 宮	上薩摩瀬町335	高 野 山 真 言 宗	快 巖 寺	北泉田町199
〃	矢 黒 神 社	矢黒町1765	〃	南 光 院	西間下町762-1
〃	唐 渡 神 社	下戸越町1056	真 言 宗 大 覚 寺 派	願 成 寺	願成寺町956
〃	遥 拝 阿 蘇 神 社	上林町610	〃	観 蓮 寺	城本町1363
〃	原 田 菅 原 神 社	下原田町17	〃	高 野 寺	下青井町47
〃	白 木 神 宮	中神町659	〃	遍 照 院	上田代町2287
浄 土 真 宗 本 願 寺 派	本願寺人吉別院	七日町25	単 立	龍 泉 寺	南泉田町298-8
真 宗 大 谷 派	林 照 寺	瓦屋町1632-1	金 光 教	金光教人吉西教会	駒井田町 1058-22
真 宗 宗 仏 光 寺 派	洪 願 寺	田町32	〃	金光教人吉教会	下新町343-1
〃	大 歎 寺	大畑町3999	日 本 ハ リ ス ト ス 正 教 会 教 団	人 吉 ハ リ ス ト ス 正 教 会	願成寺町287-1
〃	樂 行 寺	下林町273-1	単 立	神愛キリスト教会	願成寺町499-1
浄 土 宗	大 信 寺	南泉田町152	〃	日 本 バ イ ブ ル ・ プ ロ テ ス タ ン ト ミ ッ シ ョ ン	蓑野町190-2
曹 洞 宗	永 國 寺	土手町5	〃	人 吉 バ イ ブ ル ・ プ ロ テ ス タ ン ト 基 督 教 会	城本町1033-4
〃	観 音 院	九日町15	天 理 教	天 理 教 球 磨 川 分 教 会	西間下町376-1
〃	宗 嚴 寺	瓦屋町1244			
〃	祐 玉 寺	東間上町3640			
〃	石 水 寺	下原田町2348			
臨 濟 宗 妙 心 寺 派	観 音 寺	願成寺町970			

令和7年4月1日現在

20-3 ひとよしの年表

年号	西暦	で	き	ご	と
旧石器時代					
	BC26000	血気ヶ峯遺跡（鬼木町梢山）が形成される。磨製石斧、台形石器が使用される。（県内最古の遺跡）			
	BC23000	鹿児島県始良火山爆発。南九州全域にシラス降灰。			
	BC18000	村山閼谷遺跡（城本町）、血気ヶ峯遺跡が形成され、ともにナイフ形石器、石槍が使用される。			
縄文時代					
	BC 8000	白鳥平遺跡（赤池原町）が形成される。爪形文土器が使用される。			
	BC 400	中堂遺跡（中神町）に集落が形成される。中堂遺跡には、竪穴式住居61軒をはじめ、石器製場所、土器捨場があった。天城式土器、古閑式土器、黒川式土器が使用され、装飾品としてヒスイの勾玉、管玉が使用されていた。			
弥生時代					
	300	荒毛遺跡（下原田町）が形成される。墓の中に免田式土器が埋葬される。中通遺跡（赤池原町）に集落形成。宮崎県に見られる花卉状住居が使用される。			
古墳時代					
前期		荒毛遺跡（下原田町）に地下式板石積石室墓群が形成。鉄剣、鉄の矢じり、勾玉を副葬。			
	400	亀塚古墳（前方後円墳・錦町）が形成。			
	500	四塚古墳群（あさぎり町）、東浦古墳群、別府古墳群、塚原古墳群（山江村）、石坂鍋野古墳群（相良村）が形成。			
飛鳥時代					
	600	大村横穴群が形成。			
大化元年	645	大化の改新。球磨郡はこの頃置かれた。			
平安時代					
大同元年	806	青井阿蘇神社草創			
2年	807	老神神社草創			
承平4年	937	球磨の六郷として人吉郷の名あり。（和名抄）			
平治元年	1159	球磨、平頼盛の采地となる。			
鎌倉時代					
建久4年	1193	相良頼景遠州相良庄から球磨郡多良木庄に西下。			
建久9年	1198	相良長頼（頼景の第一子）、球磨郡を賜う。12月に下向、当時の人吉城主 矢瀬主馬佑（平頼盛の城代）を誘殺し人吉城主となる。			
正治元年	1199	人吉城修築（城の西南方から三日月形の紋様のある石が発見されたことから織月城ともよばれるようになる。）			
元久2年	1205	相良長頼、人吉庄の地頭に補せられる。			
元福元年	1233	願成寺開山。			
宝治元年	1247	井口八幡宮勧請。			
室町・安土桃山時代					
応永15年	1408	永国寺開山。			
文安5年	1448	相良11代藩主長統、上相良氏を滅ぼし球磨郡統一。			
文明13年	1481	球磨川大洪水。			
明応元年	1492	相良12代藩主為統、林温泉に浴す。			
天文24年	1555	法度式目21ヶ条を定め藩内に一向宗を禁ず。			
文禄3年	1594	人吉城下町立つ。			
江戸時代					
慶長12年	1607	大橋、小俣橋架橋。			
18年	1613	青井阿蘇神社改築なる。			
寛永16年	1639	人吉城完成。			
宝永4年	1707	大地震、被害多し。			

年号	西暦	できごと
宝永5年	1708	大洪水3回。
正徳2年	1712	7月7・8日大雨洪水、青井楼門まで水。
享保17年	1732	大洪水・病害虫により飢饉。
宝暦5年	1755	5月中旬より雨、6月8日夜から甚雨、前代未聞の洪水。
天文3年	1783	天候不順により大飢饉。
天明6年	1786	藩学校「習教館」創立。
天明8年	1788	「郷義館」（武芸の道場）創立。
享保2年	1802	人吉城内大火。
天保12年	1841	茸山騒動起る。（2月8日）
文久2年	1862	鍛冶屋町寅助方から出火、南西風激しく城下の大半を焼失、球磨川を飛び人吉城も焼失。
明治時代		
明治元年	1868	相良頼基、藩兵48名を率い会津戦争に参加。
2年	1869	藩籍奉還、人吉藩となり35代頼基、藩知事となる。
3年	1870	藩人口54,260人。
4年	1871	廃藩置県により人吉藩を人吉県と称す。11月、人吉県は八代県に合併。
5年	1872	人吉郵便局開設。熊本、人吉間の通送は月6回。
6年	1873	八代県と白川県を合わせ白川県となる。人吉新町学校（東間小学校の前身）開設。
7年	1874	大畑校開設。
8年	1875	西瀬校開設。同時に田野分教場、大塚分校開設。
9年	1876	白川県を改め熊本県となる。熊本地方裁判所人吉区裁判所開設。
10年	1877	西南の役起る。4月27日、西郷隆盛、熊本から人吉に退去、永国寺に入る。山田顕義少将を司令官とする官軍、6月1日人吉に侵入。全市戦場となる。6月4日人吉隊（薩軍）降伏。
11年	1878	公立人吉病院創立。球磨郡警察署独立開設。
12年	1879	球磨郡役場開設。藍田村の内と大村の内から市街地をとって人吉町誕生。
20年	1887	熊本区裁判所人吉出張所開設。新馬場一木上、薩摩瀬水出の中、渡村舟戸一畑、田町一赤池などに新道を作る。
21年	1888	熊本大林区人吉出張所開設。
22年	1889	町村制施行により球磨郡に1町2ヶ村誕生。収納部（後の税務署）開設。
23年	1890	府県制発布。
27年	1894	人吉幼稚園開設。明治32年廃園。
38年	1905	大村校（人吉西校）開設。
41年	1908	八代一人吉間鉄道開通。
42年	1909	人吉一吉松間鉄道開通。
43年	1910	球磨川下り始まる。
大正時代		
大正元年	1912	人吉水力電気株式会社創立。
5年	1916	郡立実科女学校開校（大正7年実科高等女学校、大正10年球磨高等女学校、大正12年県立人吉高等女学校）。
13年	1924	湯前線開通。熊本県立人吉中学校開校。
昭和時代		
昭和2年	1927	人吉駅前大火（焼失73棟）。球磨川下り定期便就航（土、日曜日、一人85銭）。
3年	1928	薩摩瀬下屋敷に温泉湧出。市内温泉の創始となる。
5年	1930	昭和温泉湧出（市街地内温泉創始）。
6年	1931	人吉町が相良氏より城跡（21町8畝）を購入。
8年	1933	人吉町と大村が合併、人口17,699人。
12年	1937	東人吉駅開設。人吉一水俣間に乗用自動車道開通。
13年	1938	繁華街で大火、焼失23戸53棟。

年号	西暦	できごと
16年	1941	太平洋戦争はじまる。日向灘地震、人吉で死者2人、負傷者7人、家屋全壊19戸。
17年	1942	2月11日市制施行、人吉町・藍田村・西瀬村・中原村が合併。(人口33,757人、世帯数6,773世帯)初代市長、高島愛之氏就任。
18年	1943	2代市長湊田長一郎氏就任。
19年	1944	5月9日から10日、山田川大洪水、各地で浸水、家屋流出、出町橋流出。
20年	1945	5月、米軍機により空襲、機銃掃射。8月終戦。
21年	1946	3代市長山本平作氏就任。NHKラジオ人吉中継所できる。
22年	1947	4代市長小出政喜氏就任。
23年	1948	球磨川下り船転覆。中青井町で火災16棟焼失。 学制改革により、人吉中学校と人吉高等女学校が合併、県立人吉高等学校発足。
25年	1950	九州子供博覧会開催。
26年	1951	第5代市長黒木儀寿圭氏就任。 ディーゼルカー運転開始(八代-人吉、人吉-湯前)
27年	1952	西人吉駅開設。市制施行10周年記念式典挙行。
28年	1953	人吉-妻線国鉄バス開通。
29年	1954	最初の名誉市民に相良頼綱氏を推戴。
30年	1955	第6代市長湊田長一郎氏就任。球磨川沿岸道路開通。熊本-人吉間直通列車運転開始。
31年	1956	財政再建特別措置法の適用を受け35年まで市財政の再建に努める。球磨川下り定期船復活。
32年	1957	国民健康保険発足。人吉橋開通。市上水道給水開始。
33年	1958	九日町で火災、全半焼17棟。
34年	1959	第7代市長湊田長一郎氏就任。静岡県相良町と兄弟都市の交流始まる。第一中学校全焼。
35年	1960	市民の歌制定。市民早起きソフトボール開催。第15回国民体育大会ソフトボール競技会場となる。
36年	1961	高塚山にNHKテレビジョン中継局開局。
37年	1962	市消防署庁舎落成。市庁舎落成。市制施行20周年記念行事開催。球磨川下り客船転覆。死者9人。皇太子(後の明仁上皇陛下)夫妻南九州ご旅行でご来遊。
38年	1963	第8代市長湊田長一郎氏就任。県立球磨工業高等学校開校。集中豪雨(8月4日)、家屋流出3戸、床上浸水245戸。井ノ口町で火災、全半焼19棟(4月2日)
39年	1964	国民宿舎くまがわ荘開館。
40年	1965	第1回人吉温泉観光まつり開催。し尿処理場落成。集中豪雨(7月3日)死者2人、住家流出全壊37戸、半壊846戸、床上浸水2,363戸。台風15号災害(8月6日)、住家全壊73戸、半壊513戸。
41年	1966	万江川用水梢山トンネル開通。
42年	1967	第9代市長永田正義氏就任。国道221号線改良開始。
43年	1968	人吉梅園開設。文化センター落成。えびの地震。
44年	1969	人吉・球磨地域広域が市町村圏に指定。
45年	1970	市老人ホーム落成。市老人福祉センター落成。市民プール落成。県民体育祭を開催。
46年	1971	第10代市長永田正義氏就任。水の手橋架替成る。台風19号(8月5日)、負傷者11名、住家全壊3戸、半壊7戸、床上浸水910世帯。
47年	1972	加久藤トンネル開通。人吉市総合計画第一次基本計画策定。学校給食共同調理場落成。市制施行30周年行事開催。市章、市の花「ウメ」、市の木「カシ」、市の鳥「ウグイス」を選定。D51記念館開館。
48年	1973	高齢者大学開校。
49年	1974	武道館落成。勤労青少年ホーム落成。人吉下球磨消防組合発足。
50年	1975	第11代市長永田正義氏就任。公共下水道事業に着手。第1回梅祭り開催。

年号	西暦	できごと
51年	1976	高齢者のための明るい町づくり事業はじまる。結核予防全国大会で結核対策推進優良市として表彰。
52年	1977	国道221号人吉ループ橋開通。人吉駅駅舎改築なる。農村整備モデル事業に着手。
53年	1978	九州縦貫自動車道八代ー人吉間路線発表。国道219号人吉バイパス完成。第一市民運動広場完成。曙橋完成。
54年	1979	第12代市長永田正義氏就任。国道221号線（人吉ーえびの）全面改修完了。新広域市町村圏・モデル定住圏に指定。指宿市と姉妹都市提携。集中豪雨で胸川氾濫。保健センター完成。人吉西小学校全面改築完成。
55年	1980	総合福祉センター落成、農村運動広場野球場完成。
56年	1981	市総合計画第2次第一期基本計画策定。第二中学校完成。人吉東小学校・東間小学校全面改築完成。
57年	1982	市制施行40周年記念行事開催。市民憲章制定。下水道終末処理場「人吉浄水苑」通水開始。
58年	1983	第13代市長永田正義氏就任。人吉総合食品・機械工業団地完成。中原小学校全面改築完成。
59年	1984	五十鈴橋架橋。西瀬小学校全面改築完成。人吉球磨田園都市中核施設「カルチャーパレス」落成。
60年	1985	「核兵器廃絶・平和都市」宣言。中原コミュニティセンター落成。シルバー人材センター開設。北人吉地区ほ場整備全面工事完了。
61年	1986	九州縦貫自動車道人吉ーえびの間路線発表。国鉄湯前線廃止決定。矢岳小学校全面改築、第三中学校完成。
62年	1987	第14代市長福永浩介氏就任。障害者支援センター「希望ヶ丘」学園開設。村山公園完成。大畑コミュニティセンター落成、西瀬小学校鹿目分校改築完成。
63年	1988	市総合都市計画第2次第二期基本計画策定。九州縦貫自動車道肥後トンネル貫通。人吉観光協会、民間主導の人吉温泉観光協会に。人吉城跡ライトアップ開始。
平成時代		
平成元年	1989	九州縦貫自動車道八代ー人吉間開通。くま川鉄道開業。人吉球磨広域行政組合発足。人吉下球磨消防組合新庁舎落成。石野公園オープン。電線地下埋設の九日町通りオープン。
2年	1990	中小企業大学南九州ブロック校、人吉に建設決定。第45回県民体育祭開催。頭無川雨水ポンプ場完成。七地地区ほ場整備完成。
3年	1991	第15代市長福永浩介氏就任。シルバー人材センター社団法人化。西瀬コミュニティセンター落成。石野公園焼酎館オープン。市婦人問題懇話会発足。全国スポーツ・レクレーション祭開催。
4年	1992	市制施行50周年記念式典開催。名誉市民に故犬童球溪、故湊田長一郎、永田正義、川上哲治の各氏。第一中学校全面改築完成。新老人ホーム落成。市行政機構改革実施。
5年	1993	犬童球溪顕彰像除幕。駅前ふれあい広場・石野公園展望所完成。第一回レング祭開催。人吉城跡復元工事（多門櫓、角櫓、長堀）完成。九州縦貫自動車道加久藤トンネル貫通。
6年	1994	中小企業大学校建設着手。市ゴミ減量隊発足。高齢者生活産業都市構想発表。高速道加久藤トンネル本体完成。第7回県民文化祭人吉球磨開催。民間観光案内人誕生。
7年	1995	第16代市長福永浩介氏就任。中小企業大学校人吉校開校。九州縦貫自動車道人吉ーえびの間開通。健康保険人吉看護専門学校開校。市道南泉田・鶴田線開通。市道願成寺・岩清水線開通。
8年	1996	人吉スポーツパレス落成。人吉市消防団新体制発足。田野農村公園落成。人吉駅前広場完成。第1回球磨川舟歌全国大会開催。人吉測候所観測史上最高雨量1時間103.5mm記録。
9年	1997	農村運動広場に本格野球場着工。人吉駅前広場モニュメント「からくり時計」完成。第3回細井平洲サミット人吉大会開催。九州縦貫自動車道肥後トンネル上り線貫通。

年号	西暦	できごと
10年	1998	文化センター跡地、石造地下室遺構から刀、石塔が出土。人吉球磨能力開発センター開校。市行政機構改革実施。都市計画道路・人吉蓑野線（青井トキめき通り）完成。第3回全国市町村カヌーサミット開催。相良氏入城800年記念式典
11年	1999	第54回国民体育大会開催(夏季カヌー競技, 秋季バレーボール競技)。清子内親王(紀宮)殿下国体ご観戦。第17代人吉市長福永浩介氏就任。愛称・川上哲治記念球場(農村運動広場野球場)落成。国民宿舎「くまがわ荘」が第三セクター(くま川下り(株))に移行。肥後トンネル完全4車線化、九州自動車道人吉・えびの間4車線化着工。入所授産施設うぐいす荘開設。くま川鉄道開業10周年。
12年	2000	市と郵便局の防災協定調印。介護保険制度、県球磨地域振興局スタート。第1回こども議会開会。市総合在宅介護支援センター開設。
13年	2001	全国高等学校総合体育大会開催(女子バレーボール競技)。一般廃棄物処理場・東西コミセン・新学校給食センター着工。
14年	2002	一般廃棄物処理施設「人吉球磨クリーンプラザ」稼動。市制60周年記念式典開催、名誉市民に故高木惣吉氏。東西コミュニティセンター、学校給食センター落成。
15年	2003	介護予防拠点施設「岳寿館」完成。加久藤トンネル貫通。焼酎粕リサイクル会社設立。人吉市相撲場落成。第16回熊本県民文化祭 in 人吉球磨開催。第18代人吉市長福永浩介氏就任。
16年	2004	第1回人吉温泉マラソン大会開催。九州新幹線(新八代-鹿児島中央)開業に伴い九州横断特急(人吉-熊本-別府)運行開始。市役所日曜開庁開始。国道267号久七峠バイパス開通。球磨焼酎リサイクル施設完成。台風16号、球磨川危険水位突破、32年ぶり避難勧告発令。大橋架け替え工事で全面通行止め。第1回ウンスンかるた大会。九州縦貫自動車道(人吉-えびの間)4車線化工事完成。
17年	2005	人吉城歴史館完成。第60回熊本県民体育祭開催。全国ボランティアフェスティバル人吉球磨ブロック開催。市行政機構改革実施。台風14号に伴う増水による非難勧告発令。
18年	2006	全国滝サミット開催。平成18年7月豪雨で3年連続避難勧告発令。青井阿蘇神社創建1200年祭。地域づくり実践カレッジ in 人吉開催。
19年	2007	第1回人吉福祉まつり開催。人吉市国民保護計画策定。第19代人吉市長田中信孝氏就任。人吉市がIT人材特区に認定。球磨焼酎宵の宴開催。ひとよし”かがやき”づくりトーク開催。人吉城歴史館特別展「西南戦争と人吉」開催。
20年	2008	まちづくり親善大使任命開始。第1回人吉市子ども王国保安官大会開催。大橋3年8か月ぶりに開通。第1回ひとよし大綱引き大会開催。日本百名城人吉お城まつり開催。人吉市防災実働訓練実施。青井阿蘇神社国宝指定。大雨による避難勧告発令。くま川下り屋形船20年ぶりに復活。ポルトガル国アブランテシュ市訪問団来人。南部九州市長サミット開催。総合型地域スポーツクラブ「カルバリーヨ・ラッソ人吉」設立。十年後の人吉を語る平成100人委員会発足。
21年	2009	くま川鉄道「KUMA1」「KUMA2」運行開始。じゅぐりっと博覧会、春・秋開催。人吉市・崇城大学友好協力協定調印。SL人吉運行開始。紅取橋開通。アブランテシュ市と姉妹都市締結。肥薩線全線開通100周年。
22年	2010	日野熊蔵初飛行100周年記念事業開催。姉妹都市アブランテシュ市へ第1回青少年交流派遣。中川原公園・人吉駅前広場リニューアル。人吉橋補強・補修工事完了。
23年	2011	ねんりんピック2011(ふれ愛)熊本・囲碁交流大会(スポーツパレス)開催。第1回認知症高齢者徘徊模擬訓練開催。「肥薩線を未来へつなぐ協議会」設立。「たまには市長もかてNight!」スタート。「戦争体験と平和への想い」第33回熊日出版文化賞受賞。放課後パワーアップ教室スタート。「お庭御覧」開催。
24年	2012	市制施行70周年記念式典開催、名誉市民に故日野熊蔵氏。故一井正典氏生誕150周年。人吉旅館・芳野旅館が国登録有形文化財に登録。家族の時間づくりプロジェクト初実施。第1回とおきの音楽祭 in ひとよし開催。ひとよし花まる学園大学開講。
25年	2013	球磨神楽が国重要無形民俗文化財に登録。防災行政無線運用スタート。球磨焼酎の日を制定。人吉市社会福祉協議会創立60周年。第1回球磨民謡全国選手権大会開催。名誉市民・川上哲治氏が死去。「人吉ごみを出しま宣言」宣言式。広報ひとよし1000号発行。

年号	西暦	できごと
26年	2014	「人吉市健康で笑顔あふれる市民栄誉賞」創設。くま川鉄道「田園シンフォニー」運行開始。「定住自立圏構想」中心市宣言を行う。人吉市子どもを守る五つの宣言を策定。くま川鉄道関連施設が国登録有形文化財に登録。人吉市老人クラブ連合会創立50周年。
27年	2015	人吉球磨のストーリーが文化庁の指定により「日本遺産」に認定。鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868オープン。台風15号の影響により8月25日午前4時23分ごろ、最大瞬間風速40.7m/sを記録。
28年	2016	1月23日・24日に大寒波来襲で記録的大雪。4月14日・16日に最大震度7を観測した熊本地震が発生。市内では14日に震度4、16日に震度5弱を観測。熊本地震の影響により市役所本庁舎の窓口・事務所がカルチャーパレス等に移転。ひとよし未来カフェスタート。人吉鉄道ミュージアム来館者10万人達成。くま川鉄道「自然博物館列車KUMA1・2」廃車。人吉市子ども王国保安官設立10周年記念大会。
29年	2017	ヤマセミを市の鳥に追加指定。観光列車「かわせみ やませみ」運行開始。第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会開催。第23回全国女性消防操法大会で人吉市女性消防隊が初優勝。小・中学校の医療費自己負担金無料化。市役所麓町本庁舎閉庁式。
30年	2018	人吉市子ども議会が小学生は17年ぶり、中学生は14年ぶりに開催。市役所麓町本庁舎解体。SL人吉10年目運行開始。日本遺産人吉球磨観光地域づくり協議会発足。人吉市まち・ひと・しごと総合交流館（くまりば）プレオープン。証明書コンビニ交付サービス開始。
令和元年	2019	くま川下り業務提携契約締結。タレント内村光良氏に市民栄誉授与。くまりば内コワーキングスペースプレオープン。人吉球磨スマートインターチェンジ開通式。道の駅「人吉」開駅。川上哲治氏生誕100年記念トークショー開催。
令和2年	2020	新型コロナウイルス感染症日本国内初感染。新市庁舎建設工事開始。全国の小中高等学校臨時休校開始。くまりば内サテライトオフィス・シェアオフィス・会議室利用開始。令和2年7月豪雨発災、指定避難所開設。仮設住宅入居開始。
令和3年	2021	市内中心部と人吉駅前・くまりばに仮設商店街オープン。天皇皇后両陛下オンライン行幸啓。人吉市復興計画(第1期)策定。新型コロナウイルスワクチン接種開始。オリンピック聖火リレー。令和2年7月豪雨追悼式。くま川鉄道一部運行再開。
令和4年	2022	新市庁舎落成式、市制施行80周年記念式典。防災ポータルサイト運用開始、市総合防災マップ配布。ライティング防災アラート運用開始。令和2年7月豪雨の影響で運休していた球磨川くだりが運航再開。
令和5年	2023	令和2年7月豪雨で流失した西瀬橋完成。子ども図書館オープン。タレント内村光良氏監督作品「夏空ダンス」公開。仮設商店街「モゾカタウンひとよし駅前」事業終了。青井の杜国宝記念館開館。
令和6年	2024	「鹿目の滝」熊本県指定名勝に指定。青井地区・紺屋町で土地区画整理事業着手。球磨川くだり「清流コース」再開。「住みよさランキング2024（東洋経済新報社）」総合1位。くまりばの温泉の営業再開。SL人吉一般公開（人吉駅前広場）。

20-4 人吉市内の行政町名の表記及び呼称

行政区名	呼称	行政区名	呼称
東 校 区	ひがしこうく	東間校区 (旧田野校区)	とうかんこうく (たのこうく)
田 町	たまち	西 大 塚 町	にしおおつかまち
上 原 町	うえはらまち	東 大 塚 町	ひがしおおつかまち
富 ヶ 尾 町	とみがおまち	田 野 町	たのまち
麓 町	ふもとまち	大 畑 校 区	おこぼこうく
原 城 町	はらのじょうまち	東 漆 田 町	ひがしうるしだまち
中 城 町	なかじょうまち	上 漆 田 町	かみうるしだまち
南 町	みなみまち	下 漆 田 町	しもうるしだまち
寺 町	てらまち	大 畑 町	おこぼまち
新 町	しんまち	大 畑 麓 町	おこぼふもとまち
土 手 町	どてまち	大 野 町	おおのまち
灰 久 保 町	はいくぼまち	下 田 代 町	しもたしろまち
老 神 町	おいかみまち	上 田 代 町	かみたしろまち
九 日 町	ここのかまち	段 塔 町	だんとうまち
五 日 町	いつかまち	西 瀬 校 区	にしぜこうく
二 日 町	にのまち	下 永 野 町	しもながのまち
七 日 町	なぬかまち	上 永 野 町	かみながのまち
大 工 町	だいくまち	矢 黒 町	やぐるまち
鍛 冶 屋 町	かじやまち	鹿 目 町	かなめまち
紺 屋 町	こうやまち	上 戸 越 町	かみとごえまち
下 新 町	しもしんまち	下 戸 越 町	しもとごえまち
上 新 町	かみしんまち	下 薩 摩 瀬 町	しもさつまぜまち
願 成 寺 町	がんじょうじまち	上 薩 摩 瀬 町	かみさつまぜまち
南 泉 田 町	みなみいずみだまち	相 良 町	さがらまち
北 泉 田 町	きたいずみだまち	宝 来 町	ほうらいまち
鬼 木 町	おにぎまち	下 城 本 町	しもしろもとまち
西 校 区	にしこうく	中 神 町 字 段 山	なかがみまちあざだんやま
鶴 田 町	つるだまち	中 原 校 区	なかはらこうく
井 ノ 口 町	いのくちまち	上 林 町	かみばやしまち
合 ノ 原 町	ごうのはるまち	中 林 町	なかばやしまち
瓦 屋 町	かわらやまち	下 林 町	しもばやしまち
城 本 町	しろもとまち	温 泉 町	おんせんまち
駒 井 田 町	こまいだまち	中 神 町 字 馬 場	なかがみまちあざばば
上 青 井 町	かみあおいまち	中 神 町 字 段	なかがみまちあざだん
中 青 井 町	なかあおいまち	中 神 町 字 城 本	なかがみまちあざしろもと
下 青 井 町	しもあおいまち	中 神 町 字 大 柿	なかがみまちあざおおかき
西校区 (旧矢岳校区)	にしこうく (やたけこうく)	中 神 町 字 小 柿	なかがみまちあざこかき
矢 岳 町	やたけまち	下 原 田 町 字 瓜 生 田	しもはらだまちあざうりゅうだ
東 間 校 区	とうかんこうく	下 原 田 町 字 荒 毛	しもはらだまちあざあらけ
西 間 下 町	にしあいだしもまち	下 原 田 町 字 羽 田	しもはらだまちあざはねた
西 間 上 町	にしあいだかみまち	下 原 田 町 字 上 野	しもはらだまちあざうえの
東 間 下 町	ひがしあいだしもまち	下 原 田 町 字 堀	しもはらだまちあざほり
東 間 上 町	ひがしあいだかみまち	下 原 田 町 字 西 門	しもはらだまちあざにしもん
叢 野 町	みののまち	下 原 田 町 字 嵯 峨 里	しもはらだまちあざさがり
古 仏 頂 町	こぶつちようまち	上 原 田 町 字 尾 崎	かみはらだまちあざおざき
木 地 屋 町	きじやまち	上 原 田 町 字 上 原	かみはらだまちあざうえはら
浪 床 町	なみとこまち	上 原 田 字 牛 塚	かみはらだまちあざうしづか
七 地 町	しちちまち	上 原 田 字 菖 蒲	かみはらだまちあざしょうぶ
蟹 作 町	がんとくりまち	上 原 田 字 馬 草 野	かみはらだまちあざまそうの
赤 池 原 町	あかいけはらまち	上 原 田 字 尾 曲	かみはらだまちあざおまがり
赤 池 水 無 町	あかいけみずなしまち	上 原 田 字 馬 氷	かみはらだまちあざまごおり

呼称は、本市例規集「人吉市内の行政町名及び自治会名の表記及び呼称」を参照した。